

令和6年度 集団健診（最終回）のお知らせ

医療機関よりも、お安くがん検診が受診できる今年度、最後の機会です！

（※個別健診・人間ドックを受診してない方、予約していない方が対象です。）

【特定健診、胃・肺・大腸がん検診】

場 所	西原町保健センター（西原町役場）	受付時間	8:00～11:00
自己負担額	20代30代健診 1,300円、 特定健診(40歳以上) 無料、 心電図(国保加入65歳以上) 無料、 胃がん：(偶数年齢) 1,000円、 肺がん 400円、 大腸がん 600円		

日 程	対象行政区	<Web予約・受付期間>	<電話予約・受付期間>
		(西原町ホームページ) 	電話番号 098-889-6492 (沖縄県健康づくり財団)
12/15 日	すべての行政区の方が対象です	10/11(金)～11/15(金) 24時間対応	11/11(月)～11/13(水) 8:30～12:00、13:00～16:00

※予約受付期間中でも定員に達し次第、受付を終了する場合があります。ご了承ください。

【お問い合わせ】 健康保険課 保健予防係 ☎098-911-9163

65歳以上の方へ 高齢者インフルエンザ・新型コロナウイルス予防接種のお知らせ

令和6年度10月1日から高齢者インフルエンザ予防接種、新型コロナウイルス予防接種を開始しています。予防接種を希望する方は医療機関にご予約の上、医師から十分に説明を聞き、効果や副反応等についてよく理解・納得した上で接種を受けてください。接種は自らの意思と責任で、接種を希望する場合に行います。実施場所や持ち物等、その他の詳細については、西原町ホームページをご確認ください。

対象者には予診票を送付しています。お手元がない方は健康保険課までご連絡ください。

	高齢者インフルエンザ予防接種	新型コロナウイルス予防接種
自己負担額	1,000円 ※生活保護受給の方は無料 (町助成額 約4,000円)	3,000円 ※生活保護受給の方は無料 (町助成額:約4,000円、国助成額8,300円)
	《注意》 助成が受けられるのは1回のみです。誤って2回接種してしまった場合、2回目の接種費用は全額自己負担(インフルエンザワクチン約5,000円、新型コロナワクチン約15,000円)となりますので、よく確認してから接種してください。	

【インフルエンザワクチンの主な副反応】＝ 季節性インフルエンザワクチンの場合、比較的頻度が高い副反応としては、接種した部分の赤みや腫れ、痛み、発熱、頭痛、寒気などがあります。また、稀にショック、アナフィラキシー様症状がみられることがあります。

【新型コロナワクチンの主な副反応】＝ 新型コロナワクチンの主な副反応として、接種した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み等がみられることがあります。また、重大な副反応としてmRNAワクチンについては、ショック、アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎、組換えタンパクワクチンについてはショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度がもうけられています。申請に必要な手続きなどは、健康保険課までお問い合わせください。

西原町ホームページ

インフルエンザ



新型コロナ



【お問い合わせ】 健康保険課 保健予防係 ☎098-911-9163

【みどり豊かな 隠れ家的】デイサービス

げんき工房 お結び



- ☑ 1日型と半日型から選べる
- ☑ 土曜日や祝日も利用できる
- ☑ 個別活動メニューが豊富

098-963-6262

デイサービスセンター げんき工房 お結び
中城村字当間937-1



Topics in the Town

9月22日

てーくぬ ひびき

太鼓の響き夜空を彩る さわふじ青年エイサーまつり



勇壮な演舞を披露する小那覇青年会

第18回西原さわふじ青年エイサー祭り（同実行委員会主催）が東崎のイルカ公園で開催され、町内7つのエイサー・太鼓団体が迫力満点の演舞を披露しました。各団体の力強い太鼓の音と一糸乱れぬ華麗なパフォーマンスが、観客を魅了しました。会場には出店も並び、町内外から多くの人々が訪れ賑わいを見せました。フィナーレのカチャーシーでは、響き渡る唄、三線、太鼓と旗頭の舞に合わせて会場が一体となり、エイサーの魅力を存分に感じられる一夜となりました。

出演団体

- ・かりゆし太鼓
- ・小那覇子供会
- ・内間自治会
- ・小波津団地青年会
- ・兼久青年会
- ・内間団地青年会
- ・小那覇青年会



9月22日

ペルー西原町人会 創立105周年記念式典



1919年に設立されたペルー西原町人会が、創立105周年を迎え、記念式典がペルーの首都リマで開催され、150人余りが参加しました。西原から最初にペルーへ移住したのは1907年のことです。4人の移民者が遠く離れた地で新たな生活を築き、その後1919年にペルー西原村人会が設立されました。



写真提供：ペルー西原町人会

現在は約7,000人のニシハランチュがペルーで暮らしており、ルーツである西原との交流が今もなお深く続いております。ペルー西原町人会の小波津カリナ会長は「ニシハランチュという大きな家族の一員であることを深く誇りに思います。

また、先人たちが105年間に渡り町人会を守り抜いてきたことを感謝します。ニシハランチュとしてのアイデンティティーは、私たちペルー西原町人会を強く結びつける絆です。伝統を大切にしながら、これからも共に未来を築いていきましょう」と祝辞を述べました。

9月27日

西原中学校 ペルー移民について学ぶ

ペルー西原町人会創立105周年を記念し、西原中学校3年5組でオンライン交流授業が行われました。授業では、ペルー西原町人会の小波津カリナ会長と仲宗根フェルナンドさんが講師となり、ペルー移民の歴史と町人会の活動が紹介されました。質疑応答の時間には、生徒たちから「ペルーは今何時？どうしてそんなに日本語が上手なの？さわりんって知ってる？」などの質問が飛び交いました。授業の最後には、さわりんダンスを一緒に踊り、楽しみながら交流を深めました。



10月1日

西原東こども園の設置・運営に関する協定書を締結しました！



西原町と社会福祉法人わかめ福祉会による「西原町公私連携幼保連携型認定こども園の設置及び運営に関する協定」が締結されました。令和7年4月1日の「西原東こども園」の開園に向け、園児や保護者への影響に十分配慮しながら、町と社会福祉法人わかめ福祉会が連携して取り組んでいきます。

鏡平名勝彦理事長は「公私連携こども園運営の経験を生かして、西原東幼稚園が大切にしてきた教育・保育方針を引き継ぎながら、良い教育環境づくりと園舎建設に取り組んでいきたい」とあいさつしました。

Topics in the Town